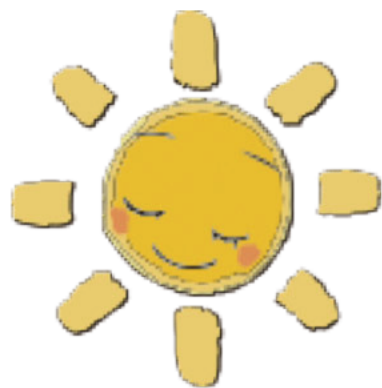


太陽の家

～子ども食堂開設講座～



～きみを、あなたを、ひとりにしない～



太陽の家

- 2015年11月
任意団体立ち上げ
- 2016年10月
NPO法人 太陽の家
として法人登記

こども食堂（子どもたちへの無償の食事提供）

- 食事の無償提供
- 遊び、習い事体験など、体験イベント実施
- 勉強補助、学習支援

シングルマザー支援の食事会・相談会

- ひとり親家庭の相対的貧困率は50.8%。重点的な支援が必要
- 助け合いの場、相談の場、支援機関への橋渡しの場として、多層的で継続的な支援を実現

フードバンク（困窮家庭への個別食糧支援）

- 困窮度の高い家庭には、各家庭ごとに必要なものを個別にお届けし、より手厚い支援を実施

子どもたちを取り巻く環境

子どもの貧困率 13.9%(2015年)

児童虐待相談対応件数 約13万件(2017年度)

小中学校のいじめ認知件数 約39万件(2017年度)

小中学校の不登校者数 約14万人(2017年度)

物質面や体験が不足している子どもや、
家や学校に居場所のない子どもが存在する

子ども食堂が果たす多様な役割

食の支援

子どもの居場所

困難を抱える子ども
もや家庭の支援

孤食の防止・
豊かな体験

支援の入口・
より深い支援への
橋渡し

多世代交流・
地域コミュニティ
作り

食事の他にも多様な取り組み

遊び

学習支援

習い事体験

食品・日用品
提供

多世代交流

食育

相談

支援先
の紹介

各種情報
の提供

調理体験

おさがり会

子ども食堂は、子どもにも、親にも、 地域にも大事な場所

子どもにとって

- 安心できる居場所、豊かな体験、遊び、食の支援、孤食防止、友達作り、多世代交流、相談

親にとって

- 休息できる場所、食の支援、多様な人との交流、相談、他支援機関の紹介

地域にとって

- 多世代交流、地域の繋がり、子育て支援の拠点、地域の活性化

子ども食堂開設の流れ

1.子ども食堂を見学

2.仲間を探す

3.計画を立てる

4.必要なものを集める

5.広報する

6.小さく始めてみる・プレオープン

1.子ども食堂を見学

- 実際に見ることでイメージが具体化
- 準備すべきことややるべきことが明確に
- 参加者の雰囲気やスタッフさんの気遣いなども感じ取れる
- 実際に運営している人に話を聞ける、つながりを持つ（こども食堂を立ち上げた後も頼れる存在に）
- 複数のこども食堂を見に行くのも、それぞれの違いが見れて参考になる

情報収集の仕方

【三重こども食堂ネットワーク】

<https://miekodomo.com/>

子ども食堂は、参加者の方々にとって大切な場所です。

見学時は参加者への配慮も心がけましょう。

★ 見学時の注意点

- 見学可否の事前確認（見学の目的、訪問日時、参加希望人数などを伝えて許可を得る）
- ルールや禁止事項等の確認（写真撮影は事前に確認して承諾をもらいましょう）



2.仲間を探す

友達や知人に声をかけよう

★ 地域の繋がりも確認しよう

- 学校関係、PTA、保育所、自治会、町内会、地域のお祭りやイベント
- サークル、クラブ活動、趣味の集まり、会社、仕事関係
- 社会福祉協議会、民生委員、他のボランティア団体
- 子どもに関する研修や勉強会などの集まり、子ども食堂関連のイベント

3.計画を立てる

誰のため?何のため?開設の目的を明確にしよう

何のため?	孤食の子どもをなくすため、地域の繋がりを作るため、など
誰のため?	地域の子どもなら誰でも、地区の親子、子どもと高齢者、など
大切にしたい事	お客ではなく家族のように接する、安心安全、居心地の良さ、など

日時	平日夜、土日の昼、が多い。子どもが来やすい時間帯で
開催頻度	月1、2回程度が多い。最初は無理のない頻度で
場所	自宅、公民館、社協、寺社、市民センター、飲食店、事業所、など
対象者	子ども限定、親子限定、地域の人なら誰でも、など。予約の有無も
定員規模	20~50人程度の所が多い。会場やスタッフ数に合わせて検討しましょう
参加費	子ども0円・大人300円の所が多い



4.必要なものを集める

会場・設備

食材・備品・消耗品

資金集め

食材	購入するものと寄付を募るものを決めましょう。寄付は、フードバンク、農協、農家、青果店、食品会社、スーパー、商店、企業など近くの方に相談しましょう。(消費期限の確認は忘れずに)
備品	食器、箸やスプーンなど、遊具(おもちゃ、絵本、カードゲームなど)
消耗品	食器洗剤、ビニール手袋、ゴミ袋、手洗い洗剤、消毒用アルコール、ティッシュ、布巾、雑巾、ラップ、キッチンペーパーなど

空き状況、料金

開催の時間帯と頻度に合うか、継続開催できる会場費か確認。申し込みのルールも確認し、早めに場所を確保しておきましょう

調理設備、備品、
手洗場所、
飲食スペース

調理設備、飲食空間を確認。調理器具、食器、備品等を使えるかによって自分たちで用意すべき物が変わります
※保健所の許可・届出が必要な場合、使用できる施設が限られる場合もあるので、事前に保健所に相談しましょう。

駐車場

子どもの徒歩圏内でなければ駐車場も確認しましょう



5. 広報する

宣伝方法



インターネット	ホームページ、ブログ、フェイスブック、ツイッター、インスタグラムなど
新聞等のメディア	新聞、タウン誌、ケーブルTV、ラジオ、市町の広報誌への取材依頼
公共施設	公民館、社協、市町の子ども関連部署へのチラシ掲示・設置
学校	小学校（事前に教育委員会へ協力依頼）、保育所へのチラシ配布
地域	自治会、PTA、子ども支援団体、商店、企業へのチラシ配布・設置
その他	友人知人への口コミ、周辺地域のポスティングなど

6.小さく始めてみる（プレオープン）

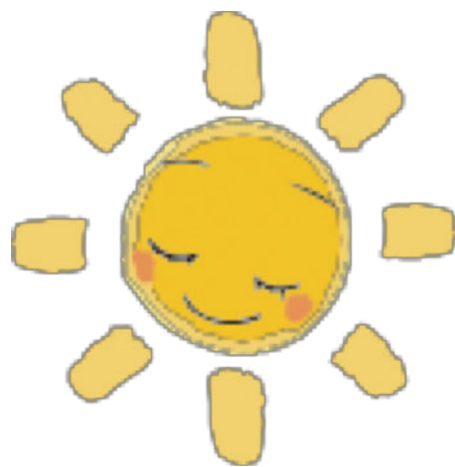
- 最初は無理せず小さな規模で
- 関係者を集めた予行演習（プレオープン）も良い
- 継続が大事
 - 継続の中で、参加者は増えていく
 - 継続の中で、協力者も増えていく
 - 継続の中で、子どもやその家族が抱える問題が見えてくる。相談もしてもらえるようになる。
- 一人で全てをやろうとせず他団体、他子ども食堂、ネットワーク、行政等の頼れる先を増やしていこう

★ 当日会場準備物リスト

- 入口の目印（看板、のれん等）
- 受付名簿
- ルールや注意書き
- 募金箱（参加費、寄付金）、おつり
- 献立表（アレルギー情報等も）
- ティッシュ、台拭き、救急箱、ゴミ箱
- おもちゃ、遊具
- 次回開催告知（チラシ等）
- アンケート
- スタッフ名札（話しかけやすい工夫）
- 寄付・協力者等の情報掲示

ワークショップ
～あなたの子ども食堂を作ろう～

～きみを、あなたを、ひとりにしない～



Thank you so much...

<https://taiyounoie2015.com>